

## モザンビーク共和国月報（2020年12月）

### 主な出来事

#### 【内政】

- 新型コロナウイルス（ニュシ大統領による経過報告、感染防止策の緩和）
- カーボデルガード州情勢（政府スポークスマンが同州のテロリストによる占領を否定）
- カーボデルガード州情勢情勢(ニュシ大統領の発言)
- カーボデルガード州情勢（不法移民の確認）
- カーボデルガード州情勢（南ア民事会社との契約継続）

#### 【外交】

- カーボデルガード州情勢（SADC臨時首脳会合を開催）
- カーボデルガード州情勢（ポルトガル国防大臣のモザンビーク訪問）
- カーボデルガード州情勢（スペインも協力を準備）
- カーボデルガード州情勢（マラウイが軍を派遣か）

#### 【経済】

- マクロ経済（中銀によるマクロ見通し）

#### 【内政】

### 新型コロナウイルス（ニュシ大統領による経過報告、感染防止策の緩和）

12月17日、ニュシ大統領は会見を実施し、「災害事態宣言」の現在までの経過報告を実施した。感染防止対策の主な緩和点は下記のとおり。

#### （1）入国関係

- ・12月19日より、入国時に提出するPCR検査の陰性証明の有効期限が96時間に延長される
- ・国境にてオンラインで観光査証の取得が可能となる

#### （2）その他

- ・屋台やバーの営業再開が許可。日曜日～木曜日は9時～16時まで、金曜日と土曜日は9時～19時まで営業が可能となる
- ・屋内で開催される私的イベントの上限は50名、屋外の場合は150名へとそれぞれ変更される
- ・市場の営業時間は18時までに延長される

### カーボデルガード州情勢（政府スポークスマンが同州のテロリストによる占領を否定）

閣議のスポークスマンであるスアズィ副大臣は、カーボデルガード州のいずれの郡もテロリストに占領されておらず、今まで一度も占領されたことはないと言明した。同副大臣の発言は、ラファエル・モザンビーク警察総司令官による「キサंगा郡都及びムイドゥ

ンベ郡を奪還し、モシンボアダプライア郡都の奪還のための激しい攻防が続いている」とする発言と反する。

#### **カーボデルガード州情勢(ニュシ大統領の発言)**

16日、ニュシ大統領は、政府は5年前からカーボデルガード州におけるイスラム過激派の存在に気づいていたと発言した。同大統領によると、過激派の活動は、タンザニア人のAbdul Shakuloが開始し、住民に対して、憲法を無視するよう伝え、イスラム教の子供を学校に通わせることを禁止した。さらに、大統領は、過激派の指導者のほとんどが外国人であり、そのうち5名はモザンビーク軍との戦闘で亡くなったと話した。

#### **カーボデルガード州情勢(不法移民の確認)**

新型コロナウイルスの影響で封鎖されていた国境が再開して以降、カーボデルガード州では、多くの不法移民が確認されている。移民局によると、先月だけで、67名の不法移民がペンバ空港に拘束されている。先週は30名のパキスタン人、5名のエチオピア人が拘束された。今週は、30名のソマリア人、2名のエチオピア人が拘束されている

#### **カーボデルガード州情勢(南ア民事会社との契約継続)**

アフリカ・インテリジェンスによると、モザンビーク政府は、南アの民間軍事会社であるパラマウント社及びダイク社と地上・空中からの軍事支援を受ける契約を結んだと発表した。ニュシ大統領とネット国防大臣が「個人的に」契約したパラマウント社は、11月にカーボデルガード州に展開するモザンビーク軍に車両を5台納入しており、今後マプト市に7台の車両を提供する予定であるという。同社は、空中からの軍事支援に備え、来年2月にヘリコプター4機を提供予定である。現在、南アの退役軍人が15名のモザンビーク人パイロットを訓練している。ダイク社は、モザンビーク警察長官との契約を更新し、空中からの軍事支援を継続する。

#### **【外交】**

#### **カーボデルガード州情勢(SADC臨時首脳会合を開催)**

14日、マカモ外務協力大臣は、1月にカーボデルガード州の状況について話し合うため、SADC臨時首脳会合を開催すると発表した。上記は、同日マプトで開催されたSADC上級諮問会合で決定された。同会合には、ラマポーザ・南ア大統領、マシシ・ボツワナ大統領、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領、スリフ・タンザニア副大統領が参加した。会合の詳細については分かっていない。

#### **カーボデルガード州情勢(ポルトガル国防大臣のモザンビーク訪問)**

ポルトガル国防大臣は、カーボデルガード州のテロとの戦いにおけるポルトガルの支援

について話し合うためモザンビークを訪問している。国防大臣は、マプト到着後、カウンターパートであるジャイメ・ネット国防大臣と会談し、主にカーボデルガードのテロ情勢について話し合った。

11日、ポルトガル国防大臣は、「1月初旬から、モザンビークにポルトガル軍を派遣し、モザンビーク軍の訓練を実施する。即時介入ユニット、特殊軍、射撃手、上空管理を行う空軍等の訓練を実施する」と発表した。

### **カーボデルガード州情勢（スペインも協力を準備）**

スペインは、カーボデルガード州に影響を与えるテロとの戦いに対し、軍事支援も含め、必要な支援を提供する準備ができていると発言した。9日、セレッソ・スペイン大使はピアス国会議長を表敬し、「スペインは、テロとの戦いへの経験があり、モザンビークを支援する用意があり、モザンビーク政府がどのような支援が必要か発表するのを待っている」と述べ、その意思を示した。スペイン政府はすでにモザンビーク政府にその意思を示している。

### **カーボデルガード州情勢（マラウイが軍を派遣か）**

マラウイ大統領は、SADC トロイカ臨時会合の中で、マラウイがカーボデルガード州でのテロとの戦いの際し、マラウイ軍を派遣すると発言した。マラウイは次の SADC 議長国である。マラウイ軍は、今月中旬にも派兵される予定である

## **【経済】**

### **主要経済指標**

- ・ 名目 GDP：149.3 億米ドル(2019 年世銀)
- ・ GDP（1人あたり）：491.8 米ドル(2019 年世銀)
- ・ GDP 成長率：2.2%（2019 年世銀）
- ・ インフレ率：2.8%（2019 年世銀）
- ・ 輸出（通関ベース）：47.17 億米ドル（2019 年中銀）  
主な輸出品は、石炭，アルミニウム，電力，重砂，天然ガス，たばこ，貴金属，砂糖。
- ・ 輸入（通関ベース）：67.98 億米ドル（2019 年中銀）  
主な輸入品は、機械類，ボーキサイト，軽油，建築資材，自動車，医薬品，米。

### **マクロ経済（中銀による経済情勢及びインフレ見通し発表）**

モザンビーク銀行（中銀）は、経済情勢並びにインフレ見通しに関するレポートを発表。レポートの概要は以下の通り。

（1）金融政策委員会（CPMO）にて、政策金利（MIMO）を10.25%のまま据え置くことで決定した。新型コロナウイルスで打撃を受けた経済は緩やかに回復が進むが、先

行きの経済及び物価の見通しは、感染症の帰趨や経済への影響の大きさによって変わり得るため、不透明感が極めて高いと判断した。

(2) 10月のインフレ率3.2%に続き、11月は3.27%と3ヶ月連続で上昇した。商品及びサービスの需要が徐々に回復傾向にあることに加え、新型コロナウイルス禍の経済対策として政府が導入していた価格抑制策の一部が終了した影響や、国際市場での食糧価格の上昇傾向を反映して、2021年の物価は上昇することが予測されている。但し、生活必需品に対する付加価値税(VAT)の免除の適用期限が2023年まで延長された影響を受け、インフレ率は1桁台で推移する見込みである。

(3) 経済活動は2020年に縮小したが、2021年に緩やかに回復すると予測されている。2020年第2四半期の国内総生産(GDP)成長率は大幅に落ち込んだが、第3四半期はわずかに回復した。サービスセクターの改善と輸出増加が主な要因として挙げられる。2021年はガス探査プロジェクトの展開や新型コロナウイルスのワクチン開発に伴う外需の回復に刺激され、緩やかながらもプラスの経済成長が見込まれている。

(4) 外貨繰りには大きな懸念はない。外貨準備高は38億9300万ドルと十分な額を確保している。但し、メティカルは、対米ドルで今後も下落が続く見通しである。

(5) 財政は今後も大きな負担を抱える。特に、北部地域の武装勢力の治安悪化を受け、国防費及び安全保障費の増加や避難民への支援金の拠出に加え、気候変動の影響や新型コロナウイルスワクチン確保の為に支出も膨れあがることから、2021年の財政状況には引き続き警戒が必要である。パンデミック(感染拡大)の影響で多くのドナーが国内対応に追われる中、モザンビークは自国の赤字財政に頼り続けることになる。対内公的債務は前回発表時の1,746.38億メティカルから1,823.25億メティカルに増加している。

(6) 短期及び中期的にモザンビークの将来の不確実性は依然として高い。北部での治安悪化の長期化、新型コロナウイルスによる経済の停滞、中部及び南部での平年並み以上の降雨のリスクが影響している。

(18日、中銀プレスリリース)